

# 中心市街地の核となる 店舗をどう考えるか

また、「土着化」という目標を掲げて、三重県ならではの県産品を紹介するコーナーを設けたり、飲食できる「無印カフェ」で積極的に三重県産の食材を扱うなど地元密着型の店舗づくりにも定評がある。

このリノベーションが、近鉄百貨店四日市店リニューアルの象徴となり、近鉄百貨店全フロアで、このコンセプトに共感した店舗づくりが展開されている。「出会い（ファースト・コンタクト）」を大切にし、ファンを増やすことから取り組んでいるが、この精神はディズニーランドやUSJなどのテーマパークに近いかもしれない。

阜メルサ館もあつた。それが今どうなつたか。これら商品の販売は、市街地の拡大、モータリゼーションの進歩と共に無料駐車場を有する郊外型の大規模ショッピングモールやアウトレットモールに移つていつた。その結果、市中心市街地から大手チェーンの小売商業店舗はことごとく撤退し、メルサ館跡には

The image shows the exterior of a Blue Blue Gifu store. The storefront has large blue letters spelling "BLUE BLUE GIFU" above a circular logo featuring a lion. Above the logo, the word "COMEDIAN" is written in a stylized font. To the right of the logo, the slogan "LIFE IS A JOURNEY TOWARDS THE GUIDING LIGHT" is displayed. The store has large glass windows showing the interior.

の開発を目指して、肌感覚を大切に、売れ筋を模索・探求する。通信販売のチャンネルも持つてはいるが、商品を手に取って買い物を楽しんでいただくため、シンプルで清潔なイメージの中、居心地のよい空間をデザインしたリアル店舗における販売に意を用い、何よりも店舗を訪れるお客様を大切にしている。

特筆すべきは、百貨店の5階全ブ

岐阜市における店舗の変遷

名古屋との関係性の中で、今後  
百貨店という業態は変化するかもし  
れないが、買い物を楽しめる空間づ  
くりは、都市として必須であり、多  
様な商品の選択肢とともに「岐阜な  
らではの逸品」を揃える必要がある  
と思う。

A woman with long brown hair, wearing a white blouse and a black tote bag, is shopping at a wooden stall. She is reaching for a small jar from a shelf filled with various items. The stall has a rustic wooden structure and shelves displaying various products.

リアル店舗の代表格が「百貨店」だが、売上高だけを見てみると百貨店業界は全国的に苦境に立たされている。岐阜県にあって、県内で唯一となつた百貨店「岐阜高島屋」。名古屋市に今後、小売り中心のリアル店舗はどうやって生き残つていけばいいのだろうか。

よつて、新しい生活様式への順応が始まった。折しもインターネット環境が整備され、いつでも場所を選ばずに情報が入手できる時代になり、ここ10年で進化してきたスマートフォンやタブレット型PCの活用の場が急速に拡大している。

人は誰しも消費行動を起こすとき目に見えるものを触って試して、納得した上で購入するのが通常であつたが、コロナ禍でリアル店舗が苦境に立たされ、通信販売やネットショッピング全盛の時を迎えた。

法人岐阜市にぎわいまち公社  
事兼事務局長 丹治克行



マンション建設ラッシュでまちなかの居住人口が増加する岐阜市において、リアル店舗で不足しているのは、家電、家具、スポーツ用品などであろうか。また、高級ブランド品では岐阜高島屋のセレクト商品しか選

The image shows the exterior of a Blue Blue Gifu store. The storefront has large blue letters spelling "BLUE BLUE GIFU". Above the letters, there is a logo with the word "COMEDIAN" and a circular emblem. To the right of the entrance, there is a sign that reads "LIFE IS A JOURNEY TOWARDS THE GUIDING LIGHT". The store has large windows displaying clothing items.

品揃えを考慮すると、選択肢が広がる名古屋市で買い物を楽しむ人が増加しているのもやむを得ないだろう。そのような中で、岐阜市中心部にキラリと光る店舗が進出し始めた。「ブルーブルー」に代表される魅力的で個性あふれる衣料や雑貨のセレクトショップ、お洒落な美容室やネイルサロン、花屋、コーヒースタンドなど、どれもオーナーの個性があふれており、その個性がそのまま店舗の雰囲気となって表現されている。

説致した「トン・ギボーテ」も2002年に閉店した。寂しい限りである。令和を迎えた今、岐阜市中心市街地で買えるハイブランド品としては、高級ブランド時計のリセール品（ムンシフエイズ）、コムデギャルソン、コムデギャルソンローブ（COMME des GARCONS）、アーヴィング（IRVING）、アーヴィング（IRVING）

## 地方都市の百貨店の地場戦略

A tall, modern hotel building with a white facade and dark horizontal stripes. A red sign with a white logo is visible at the top left. The building has many windows and a flat roof.

岐阜ならではの魅力的な商品 岐阜でしか味わうことのできない感動体験、こんなことは人気のある店舗の方は百も承知で、既に全てやっていることばかりかもしれないが、マネリズムに陥っている旧来の店舗や業態の転換を図ろうとしている方の参考となれば幸いである。

などの雰囲気づくりといつたりアルでなければ体験できないコンテンツを揃え、訪れた人の期待を裏切らない「五感に訴える」店舗であり続けることが鍵を握るのではないかと思う。

的で、良質で個性のないよなに思つては、定期的に開催される「サンデービルディングマーケット」が選択肢を提供して、柳ヶ瀬の集客に貢献してくれている。

このような柳ヶ瀬エリアにおける歴史や文化、現在に至るまでの経緯や社会背景を踏まえて、今後、リアル店舗が生き残るために、  
①売切ったら一度と手に入らない「特別感」  
(地域限定、期間限定、数量限定)などの演出  
②手に取つてしか分からぬ素材感(触覚)  
があること  
③自分の目で確かめたくなる色彩感(視覚)  
があること

て「買い物客を四日市に留めるため名古屋と同じものを揃える」という考え方から「四日市でしか買えない魅力的なモノをラインナップして名古屋から誘客する」に転換したことである。

結果、「名古屋の物まね」から脱却して「四日市らしさ」を追求するようになり、三重県民の評価も高まり入込み客が増加した。